

平27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	リンドウの丘整備事業
事業主体 (連絡先)	奥志賀高原常会 (株式会社奥志賀高原リゾート 34-2225)
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,170,492 円 (うち支援金: 840,000 円)

事業内容

- 奥志賀溪谷標識、案内板設置事業
奥志賀溪谷トレッキングコースに標識・案内板を9基設置。同時に遊歩道の整備を実施。
- 奥志賀高原 花のフォト・スケッチコンテスト
チラシ 25,00 枚を配布。45 名 115 点の応募あり。
奥志賀ホームページにて作品を公開。
- 奥志賀高原リンドウの丘PR
パンフレット 25,000 部作成し、県内外に配布。広くPRを行った。
- 町立山ノ内中学校と夜間瀬かんがい排水路、剣沢ダム勉強会
3回に分けて実施。中学3年生他 114 名参加。



【奥志賀溪谷案内板設置】

【目標・ねらい】

- ① グリーンシーズンの観光客の入込増 昨年比 28 増
- ② 中学生の美化意識向上
- ③ 散策者の環境保全意識とマナーの向上の向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 案内板を設置したことで、お客様が迷わず散策でき、自然環境の保全にも役立った。
- 次世代を担う中学生に勉強会の場を提供したことにより、美化意識の向上が図れ、ユネスコスクール登録要件となる環境学習の一助とすることができた。
- 閑散期の観光客入込の増
毎年パンフレットを配布してきたことにより、リンドウの丘を目的にされるお客様が定着しつつあり、また、新規にお客様の来訪いただくことができた。

※自己評価 【 B 】

【理由】

入込客の増加、環境保全景観形成の面については予定を上回る成果が得られたが、フォト・スケッチコンテストの応募数が少なかったことが残念である。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度、事業テーマのリンドウの丘整備から奥志賀溪谷トレッキングコースの充実を図ってきたが、さらにエリア全体として環境整備を進めて行く。

奥志賀高原開発当時から環境に配慮した運営を行ってきているが、ぜひ奥志賀に行ってみようという魅力づくりを継続して行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある